

医療従事者の需給に関する検討会
第2回 医師需給分科会

資料2

平成28年2月4日

医療の国際展開推進と医師の需給

一般社団法人Medical Excellence JAPAN・理事
慶應義塾大学名誉教授

相川 直樹

「日本再興戦略」 -JAPAN is BACK-

(平成25年6月14日)
抜粋

医療の国際展開

- 一般社団法人**メディカル・エクセレンス・ジャパン(MEJ)**を活用し、**官民一体**となって、**日本の医療技術・サービスの国際展開を推進**する。
- **新興国を中心に日本の医療拠点について2020年までに10 か所程度創設し、2030年までに5兆円の市場獲得を目指す。**
- その際、**国際保健外交戦略との連携、ODA、政策金融等の活用も図り、真に相手国の医療の発展に寄与する持続的な事業展開を産業界とともに実現**する。
- その実現に向け、上記の取組とともに、日本の良質な医療を普及する観点から、
 - ①**相手国の実情に適した医療機器・医薬品、インフラ等の輸出等の促進、**
 - ②**外国人が安心して医療サービスを受けられる環境整備等**に係る諸施策も着実に推進する。

健康・医療戦略の推進体制

健康・医療戦略の推進体制

健康・医療戦略推進本部

本部長：内閣総理大臣
 副本部長：内閣官房長官及び健康・医療戦略担当大臣
 本部員：その他国務大臣

- ・健康・医療戦略の案の作成及び実施の推進
- ・医療分野の研究開発の司令塔機能の本部の役割
 - 医療分野研究開発推進計画の作成及び実施の推進
 - 医療分野の研究開発関連予算の総合的な予算要求配分調整 等

政策的助言

健康・医療戦略参与会

産業界・医療関係機関等の有識者
 ・健康・医療分野の成長戦略
 ・医療分野の研究開発の出口戦略
 等に関する専門的助言

専門的調査

健康・医療戦略推進専門調査会

医療分野の研究開発に関する専門家て構成
 ・医療分野研究開発推進計画の作成及び
 実施の推進に関する調査・検討

健康・医療戦略推進会議

議長：健康・医療戦略担当大臣
 議長代行：議長が指名する者
 副議長：健康医療戦略室長
 構成員：関係府省局長クラス

創業支援ネットワーク協議会

次世代医療機器
開発推進協議会

次世代医療CT
タスクフォース

健康・医療戦略フェド
タスクフォース

次世代ヘルスケア産業協議会

医療国際展開
タスクフォース

内閣官房 健康・医療戦略室

➤ 事務局機能 ※次世代ヘルスケア産業協議会の事務局機能は経済産業省が担う

「日本再興戦略」改訂2015の概要・抜粋

(平成27年6月30日閣議決定)

二. 戦略市場創造プラン

テーマ1:国民の「健康寿命」の延伸

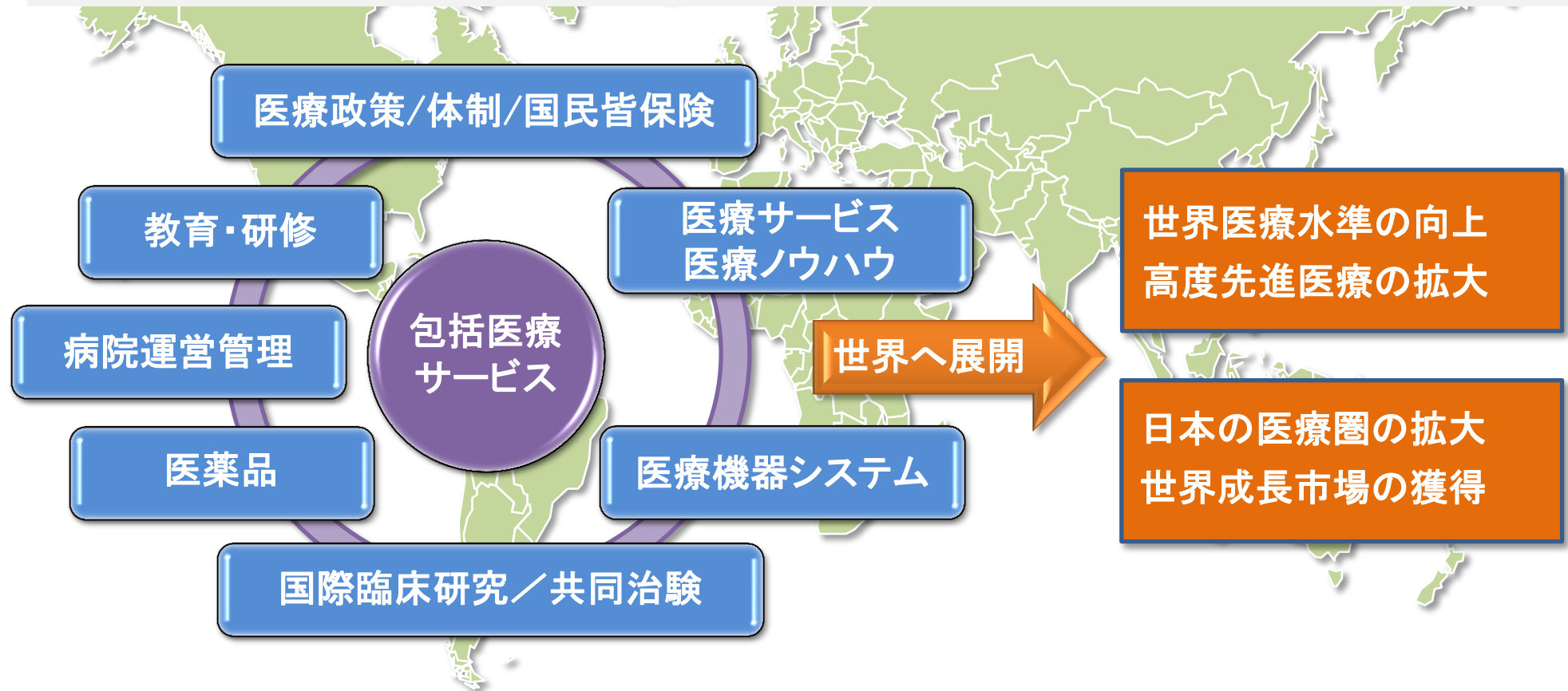
- ① 「健康長寿国 日本」のブランドを確立し、新興国等における健康・予防サービスの展開を図るため、独立行政法人日本貿易振興機構や一般社団法人メディカル・エクセレンス・ジャパン と協力して、海外での展示会等の開催を通じた認知度の向上を図る。
- ② 医療国際展開タスクフォースのインバウンド・ワーキンググループで策定した「医療渡航支援企業の認証及び渡航受診者受入医療機関の外国への情報発信に関する考え方」に基づき、外国人患者受入れ等を一気に通貫でサポートする企業の認証や、外国人患者の受入れに関し意欲と能力のある国内医療機関を「日本国際病院(仮称)」として海外にわかりやすい形で発信すること等を通じ、外国人患者に対しインバウンドに関する広報・集患に取り組む。

首相官邸HPより http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/dai2_3jp.pdf

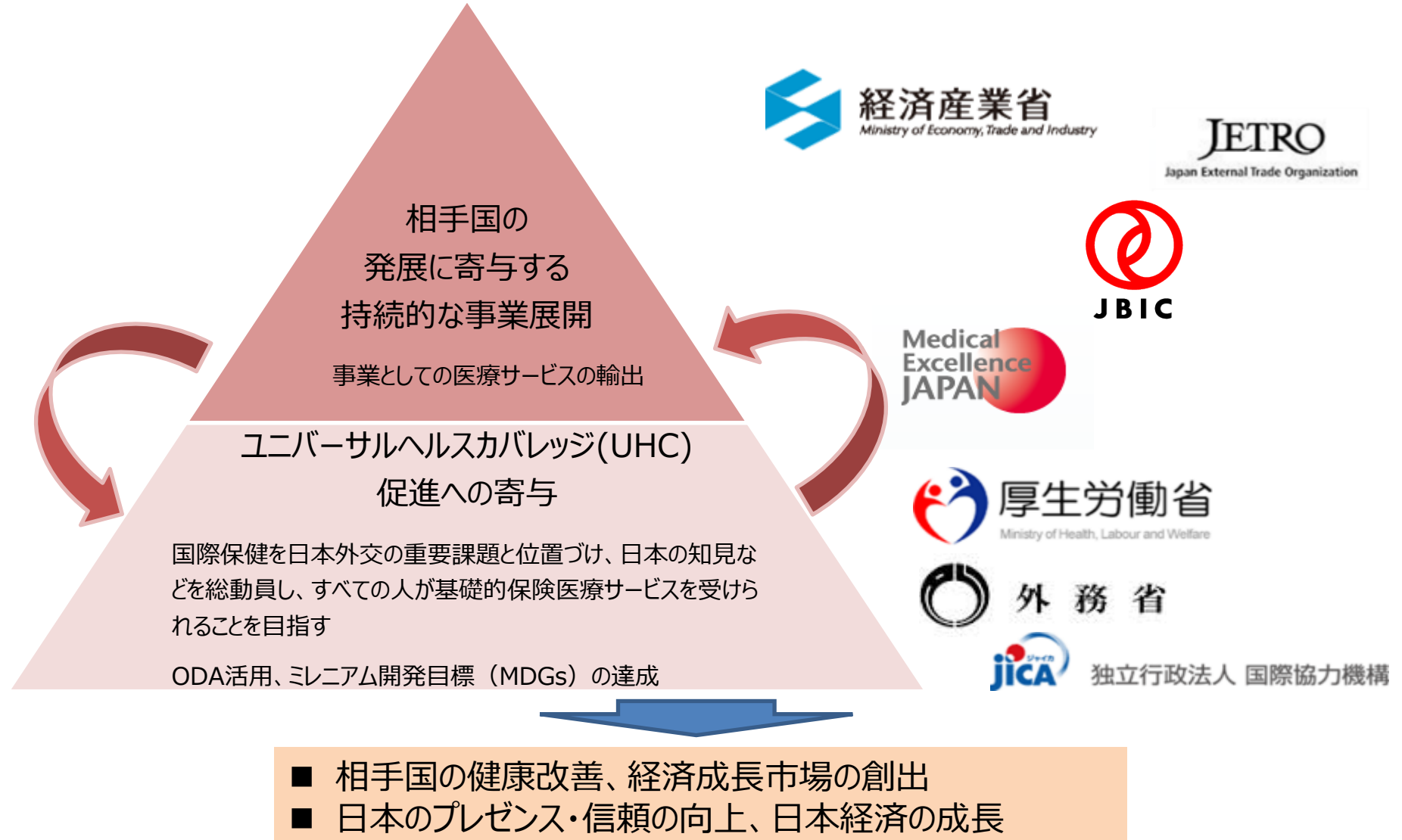
日本の医療の国際展開

アウトバウンド

- 各国の医療ニーズを踏まえて日本の優れた医療サービスを活用し、各国の社会や経済に適した包括医療システムを提供し、保健医療水準の向上に貢献する。
- MEJは、官民連携のオールジャパン事業の民間側の事務局を務める。



アウトバウンド推進のイメージ



MEJミッション

アウトバウンドの諸事業に将来必要な医師数？

医療界

新興国で医療を提供したい！
(A病院)

新興国で医療技術を教えたい！
(B医師)

若手医師を新興国で研修させたい！
(C病院)



産業界

医療事業に出資参加したい！
(D企業)

新製品の試行を新興国でやりたい！
(E企業)

医師との二人三脚で機器販売を拡大！
(F企業)



日本政府



Medical
Excellence
JAPAN

相手国

政府・医療界

我が国の医療の質向上！



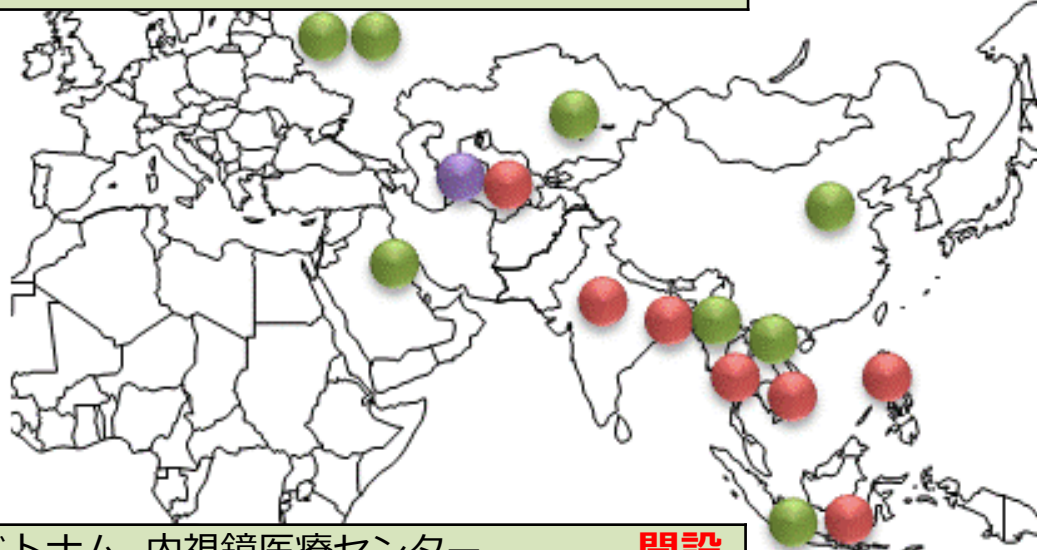
MEJは将来的に事業化することを目指して国際展開する医療機関・医師・企業を様々な側面から支援し、医療機関・企業が事業を行いやすくする「プラットフォーム」を提供

- 一団体ではできないことをMEJが支援し、その支援の上で医療機関・企業が事業を拡大していく
 - ・ 日本の国際展開にかかる情報を一元的に把握し、進出機会を提供
 - ・ 政府との協調のもと、日本の医療機関・医師や企業と相手国政府・医療機関を結び付ける
 - ・ 健康・医療分野における日本政府の成長戦略に積極的に寄与

アウトバウンド：医療サービスの海外拠点の設立事業

ロシア 循環器病画像診断トレーニングセンター **開設**

カザフスタン 日本式診断センター



ベトナム 内視鏡医療センター **開設**

ミャンマー 乳がん検診センター **開設**

インドネシア 内視鏡医療センター **開設**

中国 先進医療センター

インド 日本式簡易検査サービス拠点化

インドネシア 日本式医療連携推進センター

カンボジア 日本式健診・検査センター

タイ・ロシア メコン外科・ロシア内視鏡外科手術トレーニングセンター

トルクメニスタン 診断センター

フィリピン 国際先端消化器内視鏡センター

フィリピン 日本のPACS拠点

ブラジル 次世代がん検診センター

ベトナム 人間ドックセンター

ベトナム 日本型コンタクトレンズ診断・普及

ミャンマー 日本式医療施設整備運営

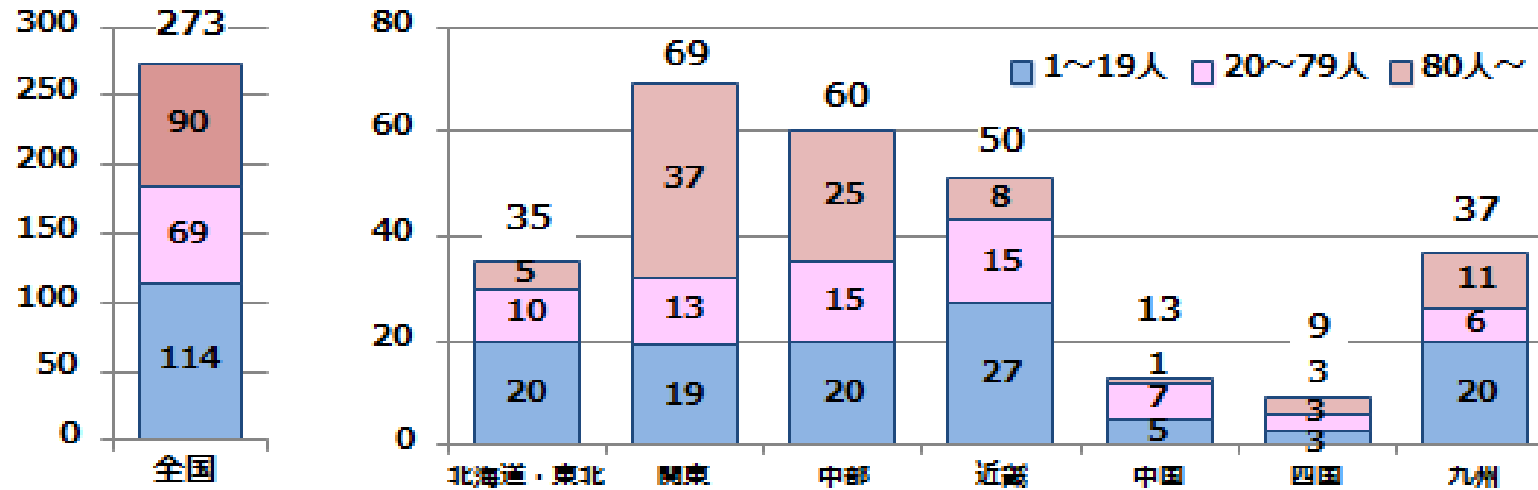
ミャンマー 日本式医療技術トレーニング拠点

インバウンド

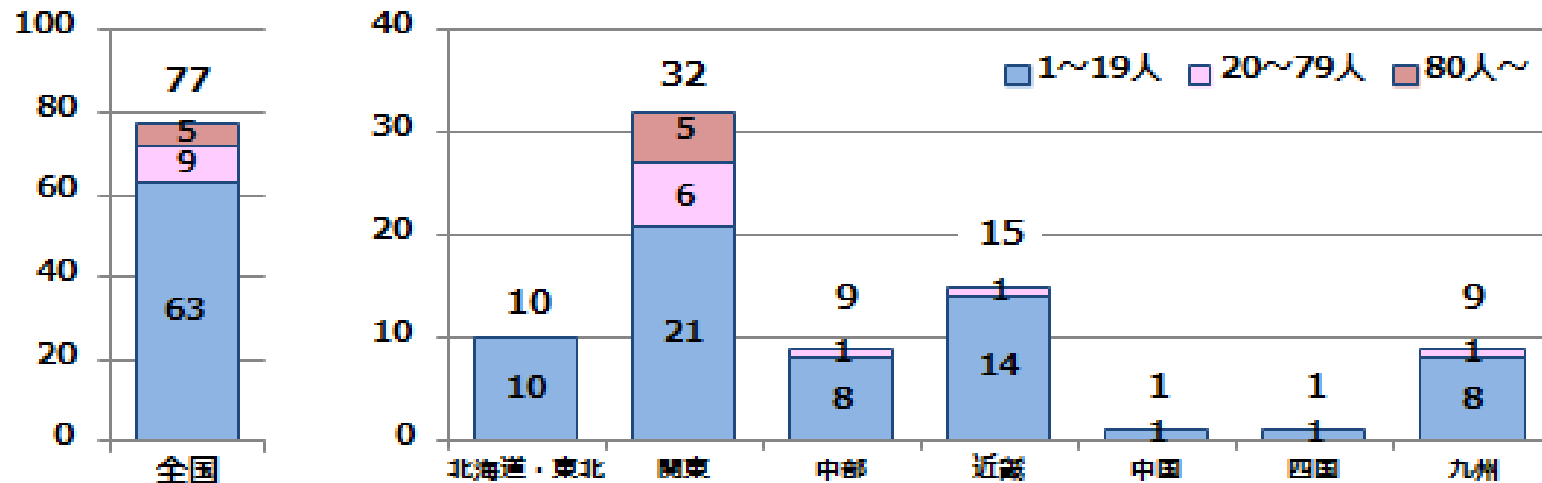
外国人患者の受入医療機関の現状（日本病院会の調査結果）

調査対象施設：2,417施設, 回収数：669施設
 調査対象期間：平成26年10月～平成27年3月

● 在留外国人 受入病院数



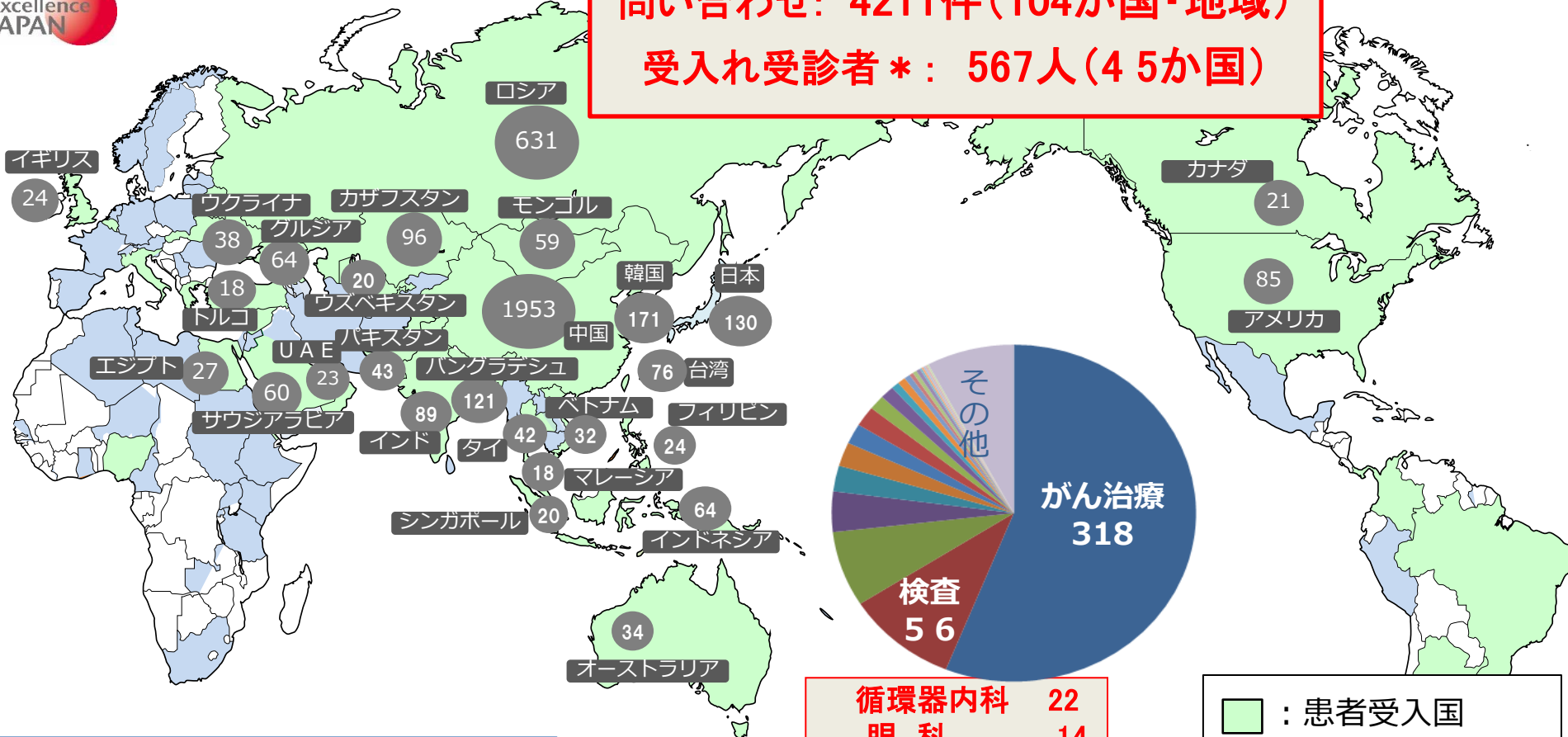
● 訪日外国人 受入病院数



インバウンド:MEJが関わった外国人患者受入れ概況(2011年1月~2014年12月)



問い合わせ: 4211件(104か国・地域)
 受入れ受診者*: 567人(45か国)



* 受入受診者:MEJに入った問合わせを、会員企業がアレンジした人数

循環器内科	22
眼科	14
脳神経外科	13
消化器内科	11
整形外科	11

■ : 患者受入国
 ■ : 問い合わせ国
 ● : 問い合わせ件数

【参考】 医療滞在ビザ身元保証件数:2014年は約 550件。

インバウンド

渡航受診受入医療機関のリスト化と海外発信の推進



首相官邸 健康・医療戦略推進本部 医療国際展開タスクフォース 「医療渡航支援企業認証等ガイドライン」

医療の国際展開と医師の需給

アウトバウンド

- 新興国を中心に日本の医療拠点を、当面、2020年までに10か所程度を創設する。
- この事業には、開設前に、現地医療者の教育・研修を現地あるいは日本で行う医師が必要となる。
- 拠点開設後は、主に現地の医療者が医療に従事することにとなる場合が多いが、現地に駐在、あるいは定期的に現地を訪問して、拠点の運営・管理や研修・医療実務に従事する日本人医師が必要となる。

インバウンド

- 現在10病院を対象として、渡航受診者への対応や実態について調査中である。
- MEJが推奨する「日本国際病院(仮称)」のリストを海外に発信することで、近い将来には海外からの渡航受診者を組織的に受け入れられるようになり、受診者数は増加すると考えられる。
- 渡航受診者の医療が、日常の日本人の医療の障害とならないような配慮が重要である。
- 内的・外的民族的要因の違い、通訳を介した診療などの特殊要因を考慮すると、医師の業務量は日本人の診療時より増加する。
- MEJ関連事業以外にも、地方公共団体、大学、医療機関、NPO、個人などが、様々な医療を国際展開する機会が増加すると推察される。また、海外からの観光客の急増や、東京オリンピック・パラリンピック時の来日者への対応などに関わる医師などの医療者も増加すると考えられる。